

牛久：学校周辺に見る自然

第36号 牛久二小

2012年11月2日発行

＜ 秋の動物たち ②トンボの仲間＞

牛久二小4年2組との「校庭の秋の生き物観察」、今回は、トンボの仲間です。



アキアカネの交尾。上の腹部全体がまっ赤な方がオス。メスは腹部の背面だけが赤くなる（下左）。



校庭のあちこちで、アキアカネの交尾こうびが見られました。9/7の観察時と違い、ナツアカネはほとんど見あたりませんでしたね。中には、水たまりに産卵さんらんしているのを見つけたお友だちもいました。水をぬいた田んぼにも産卵し、春になって水が入ると孵化ふかするそうです。トンボの仲間はほとんどが幼虫ようちゆうで越冬えつとうしますが、赤とんぼの仲間は卵で越冬するのです。



アキアカネのオス(左)とナツアカネのオス(右)。胸部の黒い線の違いや、ナツアカネでは胸部全体がまっ赤になり、顔までまっ赤になることなどから見分けられる。赤とんぼの仲間は、他の多くのトンボと違い卵で越冬する。



陽ざしに美しく輝くオオアオイトトンボ。文字通り、日本最大のアオイトトンボ。腹部第10節だけが白くなるのが特徴（左）。樹皮の下に産卵し、卵で越冬する。

翅（はね）を開いたままとまる、大型のアオイトトンボも見つけてくれましたね。オオアオイトトンボのオスです。似た仲間もありますが、左のように腹部第10節だけが白くなるのが特徴。このトンボは樹木の樹皮の下に産卵するようで、一度そのようすを観察してみたいと思っています。このトンボが見られなくなると、もうトンボの季節も終わりだなあと、いつも思います。また来年までのお楽しみです。と、ここまで書いて、「そうだ、成虫越冬のトンボもいるではないか」と思いなおしました。その名もホソミオツネトンボ（細身越冬とんぼ：22年度71号参考）。また、冬に見つけたらお知らせしますね。

【理科支援員 宮内】

